



カリタス ジャパン

東日本大震災復興支援活動報告

2018年3月

東日本大震災の発生から7年を迎えるにあたって

東北地方一帯、特に太平洋沿岸において巨大な地震と津波が発生し、日本全国だけにとどまらず世界中に衝撃を与えた2011年3月11日のあの日から、まもなく7年となります。あらためてこの大災害で生命を落とされた方々と、その後の復興の過程で亡くなられた方々の永遠の安息をお祈り申し上げます。

7年という時間は決して短いものではありません。それにもかかわらず、いまだ報道などで「仮設住宅」にお住まいの方々のお話や、自主避難生活が続けるの方々のお話を耳にいたします。そのたびごとに、この災害による被害の甚大さをあらためて認識させられます。復興庁の統計によれば、昨年12月の段階で、8万人近い方々が避難生活を送られているといます。これほど多くの方が、普通の生活を取り戻すことのできない状態が続いていることを、私たちは心にとめなくてはなりません。

同時に復興支援にあっては、被災地で取り組まなくてはならないことがまだまだ多くあるということを再認識させられます。さらに、原子力発電所の事故の影響が残る福島県内では、復興の歩みにはさらなる時間が必要だと感じさせられます。昨年9月に被災地を訪れ、南相馬市などを視察されたバチカンのフィローニ枢機卿も、これほどの時間が経過しているのに地域共同体が再生できていない現実をあらためて驚きとともに認識され、地域再生のために祈りを捧げるとともに、その実情を教皇フランシスコに報告されました。

カリタスジャパンは、全国のカトリック教会が被災地で行っている様々な復興支援活動を、国内外から寄せられた募金を基にして、地元のカトリック教会であるカトリック仙台教区に協力しながら支援活動を行っております。日本のカトリック教会は、この東北における復興支援活動を2021年3月末まで継続することを決定しております。復興に取り組まれている東北の方々が、一日も早く普通の生活を取り戻すことができるように、カリタスジャパンは地元のカトリック教会とともに、東北の皆様と歩みをともにし、今後も支援活動を支えてまいります。

これまでのカリタスジャパンの活動への多くの方々のご理解とご協力に感謝申し上げます。さらには継続したご支援をお願い申し上げます。

カリタスジャパン責任司教 タルチシオ

募金収入・援助金支出報告

期間：2016年4月1日～2017年6月30日

■ 2016年3月31日現在繰越金 (円)

カリタスジャパンに直接送られた募金の繰越金	428,370,146
国際カリタス経由でカリタスジャパンに送られた募金の繰越金	55,216,393
合 計	483,586,539

■ 募金収入 (円)

	2016年4月～12月	2017年1月～6月
カリタスジャパンに直接送られた募金	10,150,111	9,406,292
国際カリタス経由でカリタスジャパンに送られた募金	224,574,279	171,187,942
合 計	234,724,390	180,594,234

■ 援助金支出内訳 (円)

	2016年4月～12月	2017年1月～6月
プロジェクト直接費		
ベース活動		
仙台教区サポートセンター・石巻ベース・米川ベース (2016年9月まで)・福島デスク (2017年3月まで)	31,403,975	25,546,681
カリタス釜石	12,443,238	34,319,236
大槌ベース	22,172,590	18,887,279
大船渡ベース・米川ベース (2016年10月から)	6,512,190	22,005,956
カトリック東京ボランティアセンター・カリタス南相馬	20,332,339	36,544,306
いわきサポートステーション	8,930,152	2,943,325
ベース合計	101,794,484	140,246,783
その他被災者支援プロジェクト	2,256,984	3,780,000
カリタス南相馬建設	99,900,000	
大槌こどもセンター	30,000,000	
緊急対応体制構築		333,320
プロジェクト直接費の小計	233,951,468	144,360,103
プロジェクト間接費		
モニタリングと評価	742,755	794,595
広報費 (活動報告書)		93,690
会計監査費	432,000	541,340
プロジェクト間接費の小計	1,174,755	1,429,625
合 計	235,126,223	145,789,728

2016年4月～12月分については、会計監査を受けています。